

# 知の拠点あいち 重点研究プロジェクトV期

## 研究テーマ

---

## 公募概要説明

# 1. 事業概要

◆ 最新の社会情勢を織り込みつつ、愛知県の地域産業が抱える技術的課題の解決を図るため、大学等の研究シーズを活用し、新技術の開発・実用化や新産業の創出促進を目的に、産学行政が連携する研究開発支援を行います。

◆ 研究テーマは愛知県発の革新的イノベーションによる本県の産業発展、脱炭素社会の実現に貢献できるものとします。これに加えて、日本や世界レベルで、今後あるべき産業、技術、社会の実現にも貢献できるものを募集するものです。

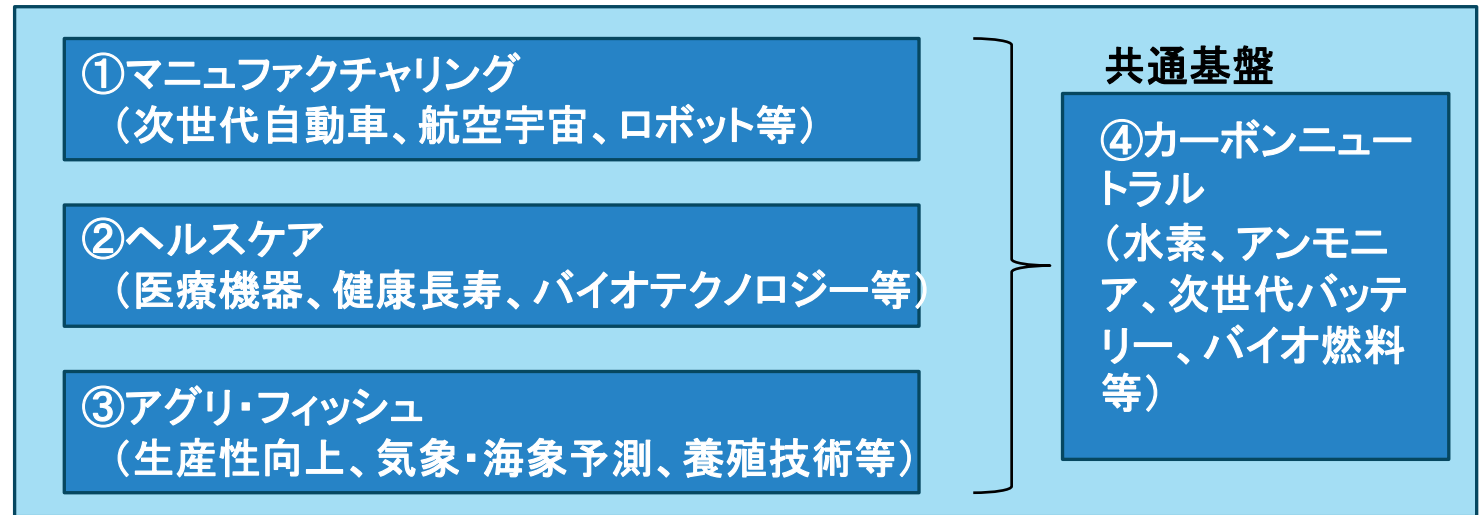
公募期間：2025年2月18日（火）～ 3月21日（金）

# 2. 研究対象分野

◆ 愛知県産業のグローバルな競争力強化とGX、SDGsへの貢献を目的として、世界的レベルでも関心が高い4つの研究対象分野を設定しました。

◆ 成果の社会実装の際、本県の産業・技術開発の課題に大きく裨益することを前提として、生成AI、ビッグデータ、IoT等のデジタル技術を活用して研究内容を深化・加速化。

◆ これにより、愛知発の革新的イノベーションの創出を図ります。



生成AI・ビッグデータ・IoT等デジタル技術の活用

愛知発新技术により革新的イノベーションを創出。  
日本や世界の産業発展、脱炭素社会の実現に貢献

# 3. 研究チーム及び研究テーマ応募枠

## ◆ 研究チーム構成

愛知県内企業及び県内外大学等の研究機関で構成される産学連携の研究チームとします。  
ただし、「挑戦枠」には愛知県内中堅・中小企業を必ず含むこととします。

## ◆ 研究テーマ応募枠

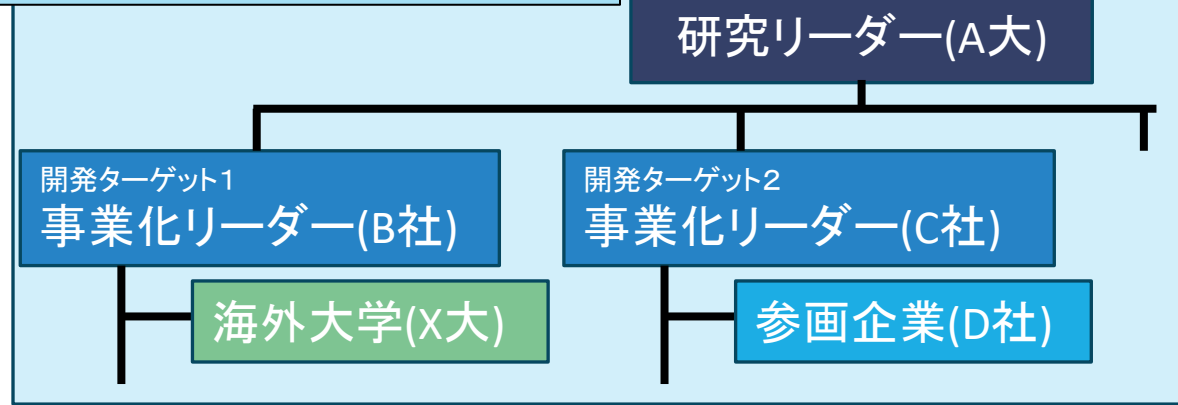
多様な研究開発を支援するため、期間・研究費を区別した3つの応募枠を設置します。

項目/枠	挑戦枠	実用枠	国際枠
期間	2年(2025～2026年度)	4年(2025～2028年度)	予備研究1年(2025年度) 本格研究3年(2026～2028年度)
研究費	3,000万円/年 以内	1億円/年 以内	予備研究500万円/年 以内 本格研究2,500万円/年 以内
採択件数	12件程度	4件程度	予備研究10件程度 本格研究2件程度
目標	技術確立の目途以上 (TRL5相当以上)	事業化・実用化以上 (TRL7相当以上)	技術確立の目途以上 (TRL5相当以上)
その他	終了時(2026年度末)に ステージゲートを設定	中間(2026年度末)に ステージゲートを設定	予備研究終了時(2025年度末)に審査委員会、本格 研究の中間(2027年10月頃)にステージゲートを設定

# 4. 研究チーム体制

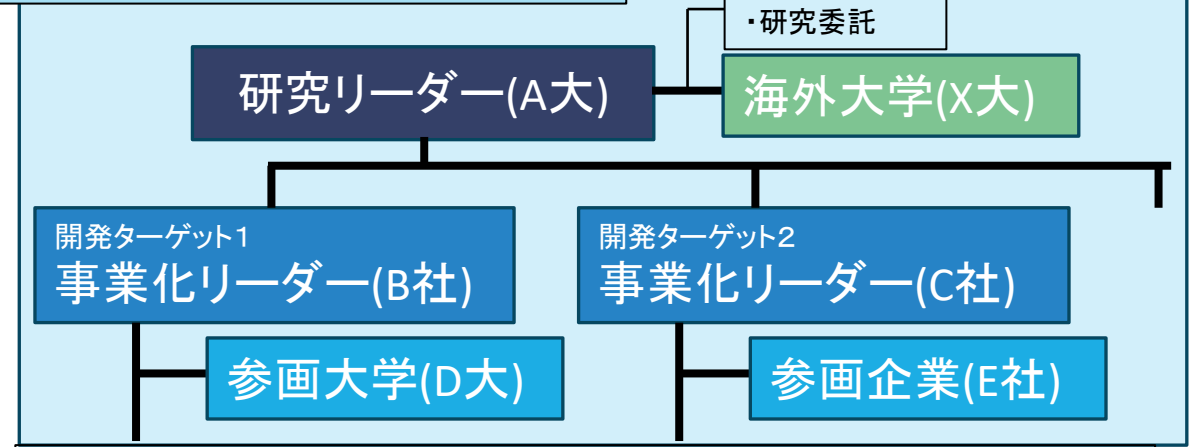
- ◆ 研究チームには「研究リーダー(産学行政いずれも可)」を1人置くとともに、開発ターゲットごとに「事業化リーダー(企業のみ可。複数可)」を置いていただきます。
  - ◆ 海外機関(大学・研究開発機関)の参加が研究開発の推進上必要もしくは有益な場合、研究チームへの当該海外機関の参画を可能とします(ただし、国際枠では海外機関の参画は必須)。
- ※国際枠の場合、海外機関(大学等)と国内大学教授等(研究室)及び県内企業による研究プロジェクトの組成準備計画書が必要になります。

**挑戦枠/実用枠**における海外機関を含む場合の研究チーム例



海外機関(大学等)を参画者とする要件  
・「提案書」の「参画機関」に記載されたチーム員であること、かつ、  
・チーム員の国内大学又は県内企業と研究委託など書面等での合意の予定があること

**国際枠**における研究チーム例



海外機関(大学等)を参画者とする要件  
・「組成準備計画書」の「参画機関」に記載されたチーム員であること、かつ、  
・チーム員の国内大学又は県内企業と研究委託など書面等での合意の予定があること  
・(2026年度以降の本格研究の対象となるためには)海外大学、国内大学、県内企業三者で共同研究契約等の締結が予定されていること

# 5. (1) 研究テーマ応募枠(挑戦枠)

【評価委員会(ステージゲート)】

評価として、①研究終了、②製造化フェーズ、③高評価かつ継続研究可能等の判断を行う。

年度	2025	2026	2027	2028
挑戦枠	研究期間：2年間 研究費：3,000万円以内/年 テーマ数：12テーマ 目標：技術確立の目途 (TRL5以上)		①新規研究を採択し研究実施	②フォローアップに移行
ハンズオン支援等	③研究を継続			
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ フラウンホーファー研究機構(独)、台湾工業技術研究院(ITRI)(台)といったグローバルな信用度、専門性を有する事業化・製品化の世界的な橋渡し支援機関等の第三者機関による技術的調査、市場の見極め等の支援</li><li>・ STATION Aiの会員スタートアップとの交流・連携</li></ul>			

# 5. (2) 研究テーマ応募枠(実用枠)

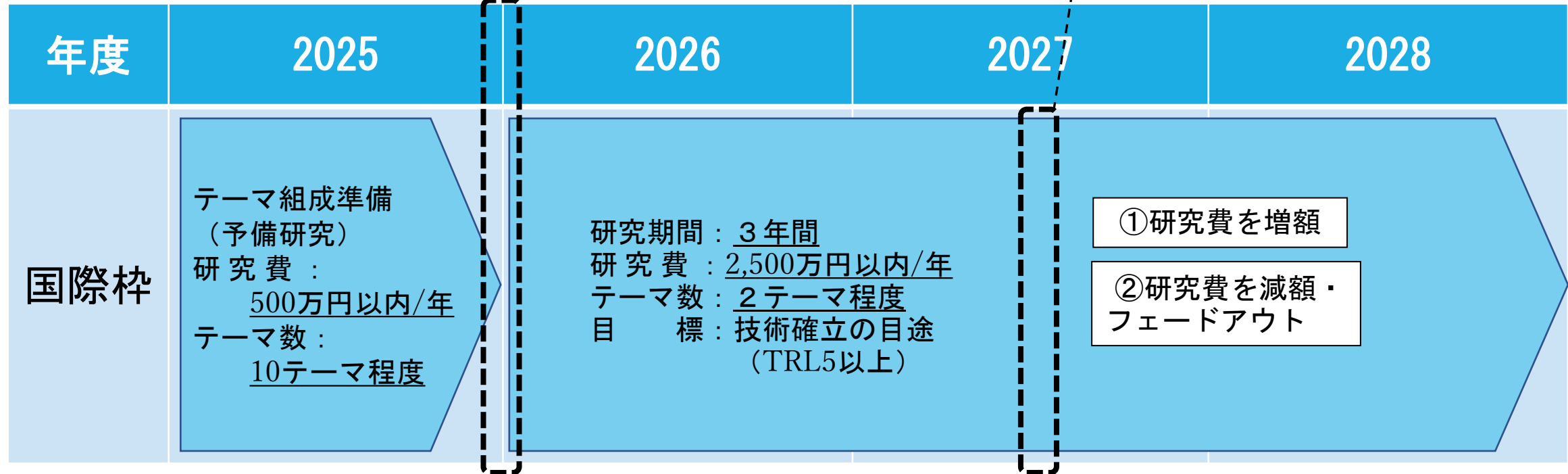
【評価委員会(ステージゲート)】  
評価として、①高評価、②低評価の判断等を行う。

年度	2025	2026	2027	2028
実用枠	研究期間：4年間 研究費：1億円以内/年 テーマ数：4テーマ 目標：製品化・実用化 (TRL7以上)			
			①研究費を増額 ②研究費を減額・フェードアウト	
ハンズオン支援等	・ フラウンホーファー研究機構(独)、台湾工業技術研究院(ITRI)(台)といったグローバルな信用度、専門性を有する事業化・製品化の世界的な橋渡し支援機関等の第三者機関による技術的調査、市場の見極め等の支援 ・ STATION Aiの会員スタートアップとの交流・連携			

# 5. (3) 研究テーマ応募枠 (国際枠)

研究テーマ決定 (審査委員会)

【評価委員会 (ステージゲート)】  
評価として、①高評価、②低評価の判断等を行う。



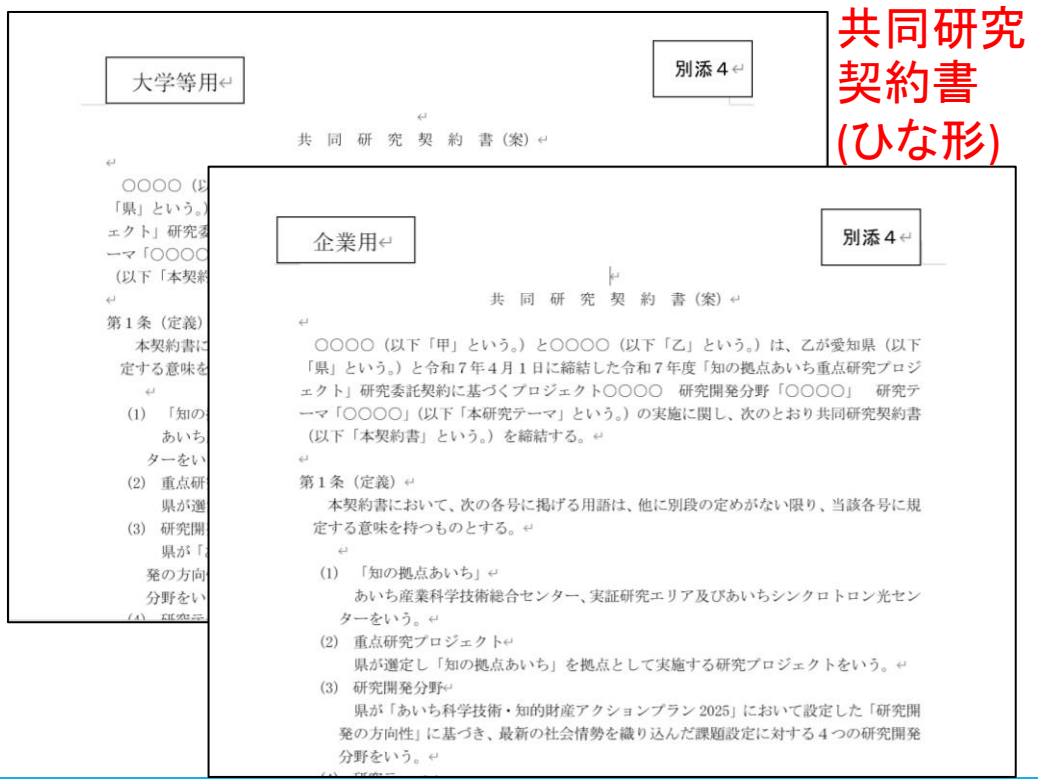
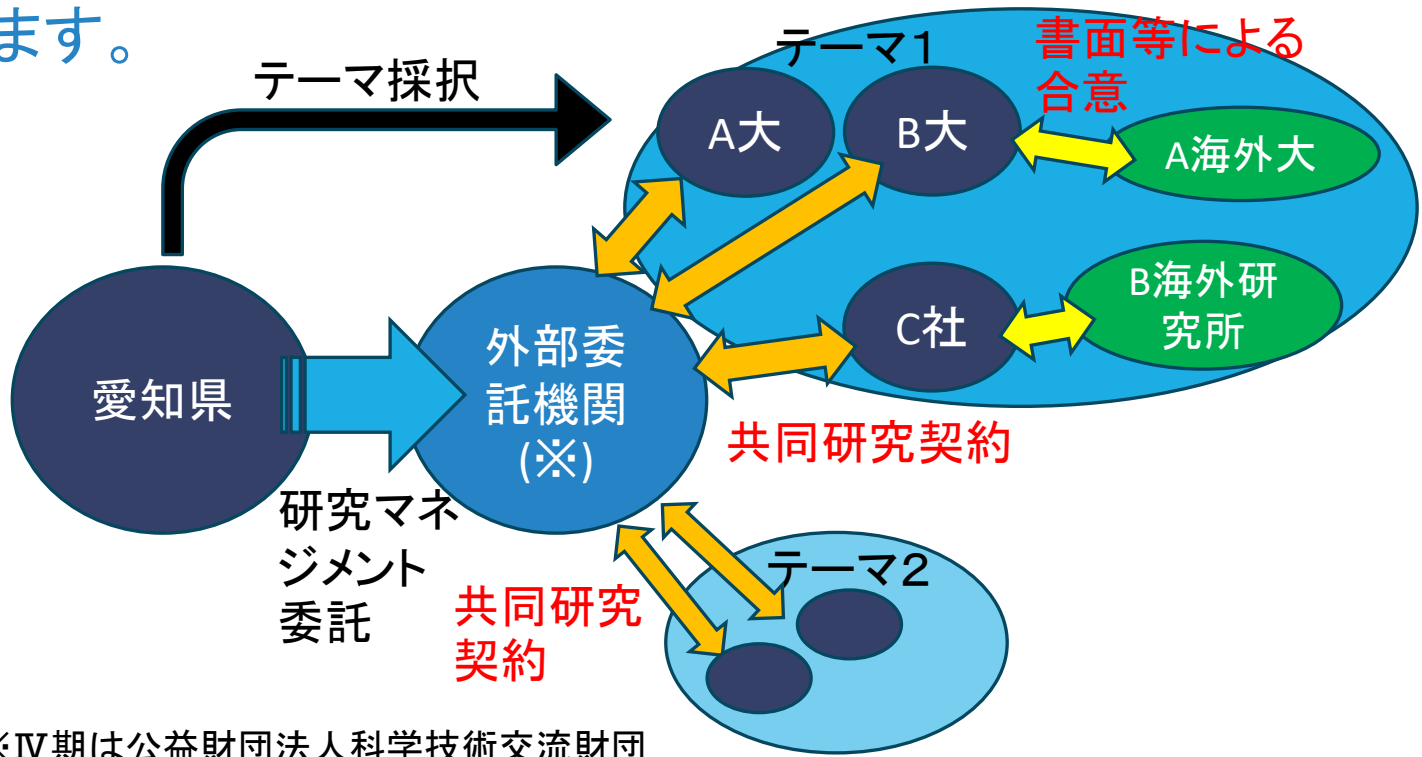
※海外大学・研究開発機関と国内大学及び県内企業の3者以上の参画が必須です。  
また、経済安全保障上の観点から問題がないことが求められます。



# 6. (1) 事業方式

◆ 重点研究プロジェクトV期のマネジメント(研究チームが行う研究活動の進捗管理や研究成果の活用促進等を支援する業務、研究経費の執行管理業務及び審査・評価に係る事務業務)等については、県が外部機関に委託します。

◆ 重点研究プロジェクトV期へ参画する機関は、”外部委託機関”との間で、「共同研究契約書ひな形(企業用)、(大学等用)」に基づき、共同研究契約を締結して、研究開発を推進します。

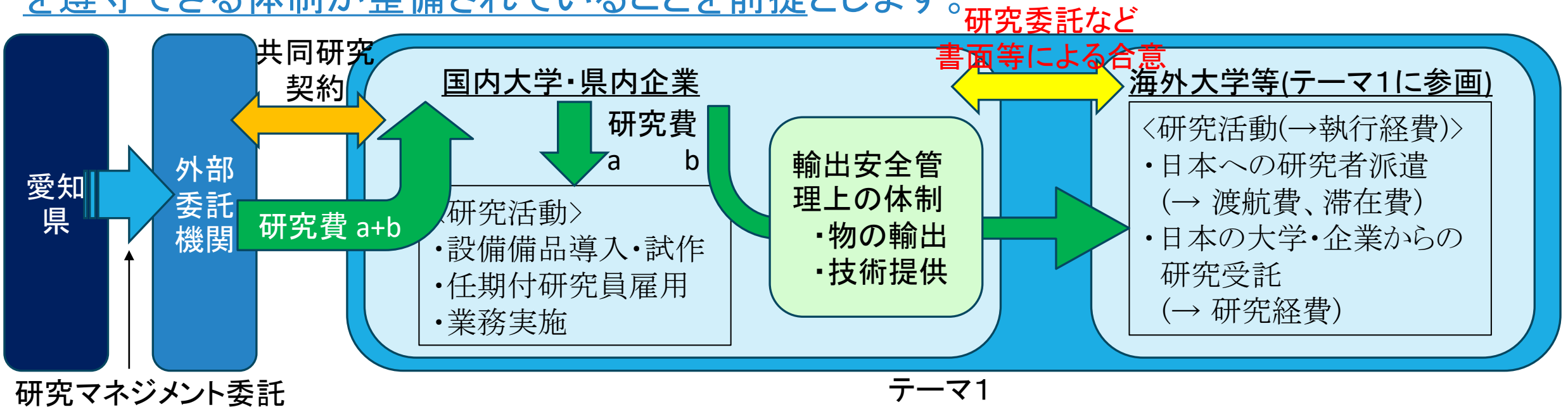


共同研究  
契約書  
(ひな形)

※IV期は公益財団法人科学技術交流財団

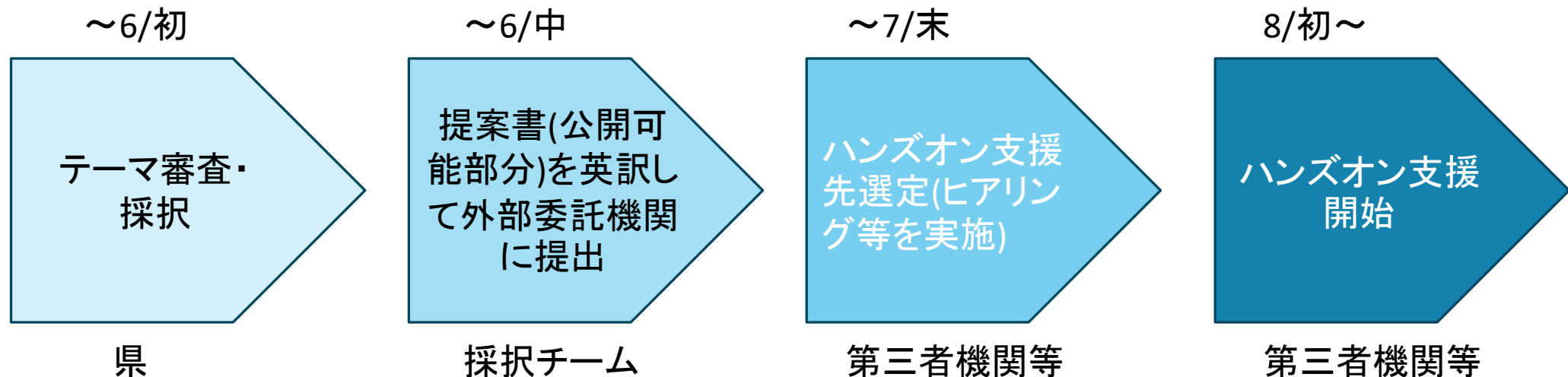
# 6. (2) 事業方式(海外大学等の参画)

- ◆ 海外大学等は、外部委託機関と共同研究契約を締結するのではなく、国内大学または県内企業と重点研究プロジェクトにおける研究委託契約あるいはこれに準じる措置(書面等による合意)をしていただくことで、当該国内大学等が参画する研究テーマに参画することとします(「6(1)」のとおり)。
- ◆ 海外大学等における研究費執行は、国内大学・県内企業等が組織内の規程等に基づき、責任をもって処理することとします。
- ◆ 国内大学・県内企業等には、外国為替及び外国貿易法に規定する「輸出者等遵守基準」を遵守できる体制が整備されていることを前提とします。



# 7. ハンズオン支援

- ◆ 国際的に信用度、専門性を有する事業化の橋渡し第三者支援機関(フラウンホーファー研究機構(FhG)、台湾工業技術院(ITRI))による技術的調査、市場の見極め・提案等の具体的な支援を実施します(趣旨:研究成果の事業化のスピードアップ・効果の最大化)。
- ◆ 挑戦枠、実用枠の全ての採択テーマは原則、第三者機関による支援の選定対象となり、実用枠を優先に10件程度が選定されます。



# 8. 研究実施場所

## ◆ 研究実施場所

知の拠点あいち(実証研究エリア含む)、大学、研究開発機関または(県内)企業の研究開発拠点等



- ・ 研究室  
参画するスタートアップに、希望または抽選に基づき、研究期間を限度として研究室を提供します(賃借料無料。ただし研究員等の常時在室が条件)。  
スタートアップ以外でも研究室が提供される場合があります。



- ・ 実証研究エリア  
知の拠点あいち建物に隣接するエリアです。利用面積は県と協議を要します。

<知の拠点あいち>

所在地:愛知県豊田市八草町秋合1267-1

アクセス:電車(名古屋駅から約50分)

名古屋駅-地下鉄「藤が丘」-リニモ「陶磁資料館南」

# 9. 研究費自己負担(マッチングファンド)

◆ 研究の目標・ミッションの達成に向け、産業界と協調・連携する体制を構築する仕組みとして、実用化に近く、専ら企業の競争力強化に資するものに対し、原則、参画企業にマッチングファンドを求めます。

挑戦枠	実用枠	国際枠	全般
<ul style="list-style-type: none"><li>・目標がTRL5の場合、年度ごとに“任意の率”を負担</li><li>・TRL6以上の場合、年度ごとに“支給研究費と同額”を負担</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・前半の目標(TRL)に応じて、「挑戦枠」と同様の負担</li><li>・後半の目標はTRL7以上のため、“支給研究費と同額”を負担</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・初年度の自己負担は免除</li><li>・2年目以降採択の場合は「挑戦枠」と同様の負担</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ハンズオン支援を希望表明する場合は“支給研究費と同額”を“1/2以上”に軽減</li><li>・中堅・中小企業の負担は2倍換算</li><li>・スタートアップには負担を求めず、スタートアップ1社参画につき、1,000万円を減額。</li><li>・地方自治体等の公共により実用化を図るものについては自己負担を免除</li></ul>

# 10. 対象経費

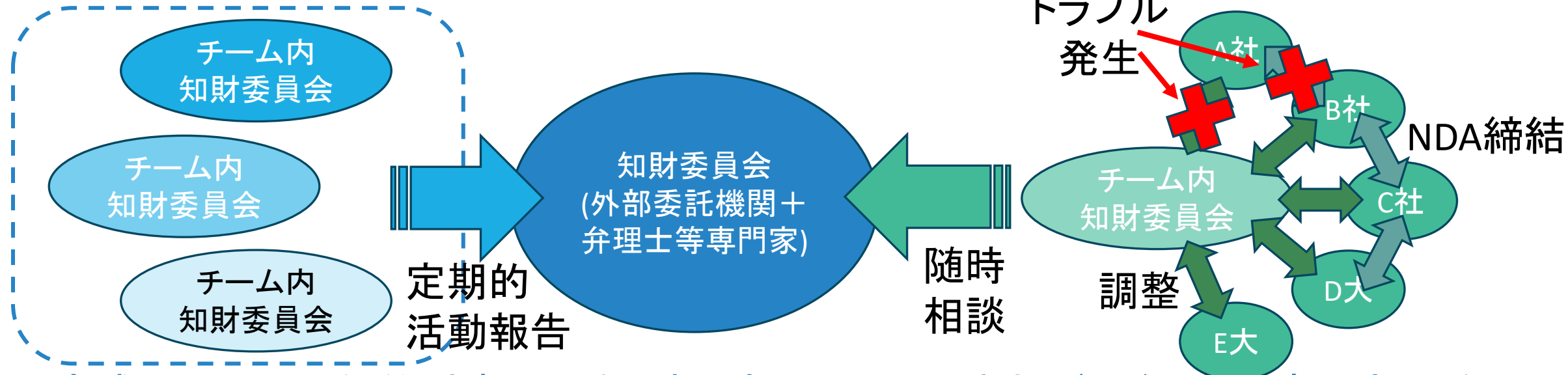
◆ 執行できる対象経費の区分は以下のとおりです。

費目	区分	留意点
設備備品・試作品費	設備備品費、試作品費、改造費	参画企業等から購入する場合は、同社の利益を排除した原価によります
人件費	任期付研究員費、研究補助員費	特任として雇用する労務費のほか、企業の研究者が大学に雇用され、本事業に従事する場合の労務費を含みます
業務実施費	消耗品費、旅費、諸謝金、会議開催費、通信運搬費、印刷製本費、賃借料、雑役務費、研究委託費(海外大学等の場合)、光熱水費、消費税相当額	企業の特許出願費用は除外します
事務負担金	—	設備備品費・試作品費、人件費、業務実施費合計額の10%(大学は20%)を上限とします

# 11. 知財の扱い

## ◆ 知財委員会

- ・各研究チーム内に、研究成果の公表・権利化・秘密保持等の調整を行うため、「チーム内知財委員会」を置いていただきます。
- ・外部委託機関内に、「知財委員会」を置き、チーム内知財委員会は、随時相談、定期的に活動状況を報告するものとします。



※研究成果にかかる知的財産は、委託者である県は、日本版バイドールの考え方に従って、原則、譲り受けません。

# 12. 提出書類

◆ 応募にあたっては、応募枠ごとに以下の書類をご提出ください。

挑戦枠・実用枠	国際枠
研究テーマ提案書(様式1) パワーポイント資料(様式2) 誓約書(様式3) 参画企業概要(様式4) 研究リーダーの経歴・実績(様式5) 事業化リーダーの経歴・実績(様式6)	組成準備計画書(様式7) パワーポイント資料(様式8) 誓約書(様式9) 参画企業概要(様式10) 研究リーダーの経歴・実績(様式11)

## 【留意事項】

- ※ あいち電子申請・届出システムにより提出してください。
- ※ 提出する際には、1ファイルにまとめ、zip形式に圧縮(20MB以下)してください。
- ※ 提案書等への押印は必要ありません。
- ※ 提案書等の不備・不足がないよう確認の上、提出してください。
- ※ 持参、郵送、FAX及びメールでは受け付けません。



# 13. 審査

提出された提案書等に基づいて審査を行い、研究テーマを決定します。

## ◆ 審査

産学行政で構成する「重点研究プロジェクトⅤ期研究テーマ審査委員会」を設置し、その審査結果を踏まえて、採否を決定します。

審査は非公開で行い、審査の経過や審査状況に関する問い合わせには応じません。

## ◆ 審査に当たっての評価項目

- ア 研究開発内容の妥当性・優位性
- イ 目標の明確性・先進性
- ウ 県産業への貢献度、人材の育成観

## ◆ 審査手法

- ・ 全ての提案チームに対して、外部委託機関等による(審査前)ヒアリングを行います。
- ・ その後、挑戦枠、国際枠は審査委員会の書面審査(一次審査)によりテーマ決定します。
- ・ 実用枠は一次審査に続いて、ヒアリング審査(二次審査)を経てテーマ決定します。

# 14. スケジュール

日程	内容
2025年3月21日(金)正午	受付期限
3月下旬～4月下旬	審査前ヒアリング ※外部委託機関等が実施
5月上旬	一次審査(書面)
5月中旬	採択テーマ内示(挑戦枠、国際枠)
5月中下旬	ヒアリング審査(二次審査) ※一次審査通過案件(実用枠)のみ
5月下旬	実用枠採択テーマ内示
6月3日(火)	採択テーマ公表・通知
6月上旬～	○全体研究計画書・2025年度研究計画書を提出 ○外部委託機関との共同研究契約を締結 ○ハンズオン支援先決定・支援開始(8月上旬予定)

※ 本公募に関する質問については、3月14日(金)まで受付し、3月17日(月)までに随時、Webページに掲載します。

# 15. 応募条件

◆ ア及びイを満たすこととします。

- ア 研究リーダー又は事業化リーダーに選定された者が応募できる研究テーマは、1件に限ること。
- イ 応募する研究テーマと同一又は類似の研究開発内容が、応募までの時点において、国等の競争的資金や地方公共団体の補助金等に採択されていないこと。  
(他の事業に申請中で採択が確定していない場合は、様式1もしくは様式7に記入。)

## 【留意事項】

採択後に応募条件を満たさないこと又は提案内容に虚偽があることが発覚又は疑義が生じた場合には、採択の取消し又は研究経費を減額することがあります。

## 16. 問合せ先

愛知県 経済産業局 産業部 産業科学技術課 科学技術グループ  
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 本庁舎2階  
電話: 052-954-6351 FAX: 052-954-6977  
URL: <http://www.pref.aichi.jp/san-kagi/kagaku/>  
E-mail: [san-kagi@pref.aichi.lg.jp](mailto:san-kagi@pref.aichi.lg.jp)